

アクティブ・ラーニングの視点からの授業設計

1 対象（実施を想定する学校・児童生徒の概略）

視覚障害特別支援学校 高等部 1～3年（準ずる、下学年適用の教育課程） 7人

本グループは生活経験において実態差が大きく、自力通学や休日に単独で出掛ける生徒から単独で公共交通機関を使ったことがない生徒もいる。

進路や生活について関心はあるが、主体性や目的意識という点ではやや弱い面があり、調べ方やまとめ方は支援が必要である。真面目で決められたことはしっかり行うことができるため、社会的な経験を積み重ね、思考力や判断力を育てていきたい生徒たちである。

2 教材のねらい（単元としてのねらい、単元の中の位置づけ、生徒に期待する学習など）

単元名：「一日総合に向けて」

単元のねらい：「一日総合」の目的を考え、計画をたてることができる。

自分が調べたことを一日総合で確認したり実際に体験したりすることができる。

本時のねらい：他者の意見を聞いて、自分の計画内容を見直し充実させることができる。

自分の役割に応じて意見や感想を述べることができる。

3 授業の展開（本時：7/9時間）

		時間配分
解決したい課題や問い	アドバイスを聞いて計画を見直し充実させよう。	導入 (5分)
授業開始時に想定される児童生徒のあらわれ ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習の計画はできた。① ・自分の計画に友だちの意見を聞きたい ② ・自分の計画を見直し充実させたい ③ 	

考えるための材料A	考えるための材料B	考えるための材料C	展開1 (25分)
それぞれの校外学習の計画	役割を決めたグループワーク	自分の計画を見直す時間の確保（自己との対話）	
想定される活動	想定される活動	想定される活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・各自が記録用紙として使っているテーマ、目的地、設定理由、調べてくる内容や質問事項を記入した用紙を準備しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3～4人のグループで発表者、質問係、褒め係、アドバイザーと役割を決めて、発表者が変わるたびに役割を変える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの意見を聞いて計画を見直す。見直し後、充実させることができた部分についてみんなの前で発表する。 	
教師の押さえ	教師の押さえ	教師の押さえ	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画書を前週までに作るよう伝え、全員分をまとめて前日までに生徒に渡す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この方法と同じグループワークを9月から授業で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・迷っている生徒には充実させることができる視点をアドバイスする。そのため、話合いの途中で充実につながるポイントをメモしておく。 	

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）		展開2 (10分)
友だちの意見を聞いて自分の計画を充実させよう。		
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の計画のよかったところはどこかな。（褒め係からの意見） ・自分の計画の疑問点はどこかな。（質問係からの意見） ・どんなアドバイスをくれるかな。（アドバイザーからの意見） ・自分では気が付かないことがたくさんあるね。これらをもとに計画を見直し、充実させよう。 ・この校外学習の計画なら自分の課題をしっかり調査できそうだ。 		

学習の成果		まとめ (10分)
授業終了時に想定される児童生徒のあらわれ ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度	友だちのアドバイスや質問を受け、各自で自分の発表を振り返り（自己との対話）、充実できた点をまとめて発表できる。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を見直し、充実させることができる。 ・グループワークで役割を理解し、主体的に意見を発表することができるようになる。 ・友だちの意見を聞いたり、発言したりしたことにより、思考の視点を変えることが計画の充実につながることに気付く。 	

アクティブ・ラーニングによる授業実践記録

解決したい課題や問い	
	<p>○解決したい課題を提示した場面について</p> <p>今回の計画検討の時間については生徒に予告してあったので、落ち着いて聞いていた。</p> <p>★課題についての教師の評価</p> <p>充実させるという言葉がややイメージを持ちにくかったと思う。生徒が分かりやすい表現を使うとよかった。</p>
<p>テーマの発表</p>	
考えるための材料	
	<p>○考えるための材料を活用しながら学習に取り組んだ場面について</p> <p>事前の授業までは発表内容が少なかったため、資料なしの状態で行った。今回は内容が多く、全員の計画を書かれた資料を先渡しした。その結果、ほとんどの発表者は計画書を読みながら発表を行った。</p> <p>★材料についての教師の評価</p> <p>資料を先に渡したことについて、事前の読み込みが必要な生徒もいれば、当日の発表を聞いて意見を発表することを目標としたい生徒もいた。個々に応じた細かい支援の検討が必要であった。</p>
<p>計画の発表の様子</p>	
対話と思考	
	<p>○対話や思考した場面の様子について</p> <p>ほとんどの生徒が自分の役割を理解し、決められた時間内、主体的に意見を発表することができた。一部、発言の途中で寝る役割から、アドバイスに変わったり、時間の途中で終わってしまったりする生徒がいた。</p> <p>★対話や思考の場面についての教師の評価</p> <p>今後も役割を決めた話し合いを続け、設定した時間でバランスよくいろいろな意見を言えるよう支援していきたい。この取組を社会に出たときに自分の思いを発言できる力につなげたい。</p>
<p>発表後の役割を決めた話し合い</p>	
学習の成果	
	<p>○学習の成果を実感した場面の様子について</p> <p>友達の意見をもった後に記入した充実シートには全員が追加点や気付いた点を記入することができた。5つ以上の気づきを記入できた生徒もいた。</p> <p>★学習の成果について教師の評価</p> <p>成果の発表は2名の生徒のみ行ったが、他の生徒の参考になるよう多くの生徒が発表できるとよかった。</p>
<p>意見を聞いて充実シートに記入</p>	

アクティブ・ラーニングの視点による授業実践を振り返って(もう一度同じ授業を行うとしたらどこを改善するか)

○成果と課題

9月から始めた役割を決めた話し合いは、自分の役割を付けることでポイントをしぼって聞いたり、話したりすることができ、生徒が主体的に意見を言う場面が増えた。ここから、深い学びを実現できるよう、実態に合わせた資料の活用法、多くの意見の中から必要な情報を選択できる方法を身に付けられる支援を検討したい。